ように正確に希釈し、各溶液及び標準原液を必要に応じてメンブランフィルター（0.45μm）を用いてろ過し、ろ液を標準液とする。標準液10μLずつにつき、以下試料溶液の場合と同様に液体クロマトグラフ法により試験を行う。得られたクロマトグラムからグアニジノ酢酸のピーク面積を求めて検量線を作成する。	
㈠　保存の方法の基準 密閉容器に保存すること。	
イ　製剤	
㈠　成分規格 本品は、グアニジノ酢酸製造用原体に、デンプンを混和した粉末又は粒子である。 含量　本品は、定量するとき、グアニジノ酢酸（$C_3H_7N_3O_2$）95.5％以上を含む。 確認試験　グアニジノ酢酸製造用原体の確認試験を準用する。 定量法　グアニジノ酢酸製造用原体の定量法を準用する。	
㈠　保存の方法の基準 グアニジノ酢酸製造用原体の保存の方法の基準を準用する。	
㈣～(137)　（略）	㈣～(136)　（略）
(138)　フィターゼ	(137)　フィターゼ
フィターゼ（その１）　（略）	フィターゼ（その１）　（略）
フィターゼ（その２の(1)）　（略）	フィターゼ（その２の(1)）　（略）
フィターゼ（その２の(2)）　（略）	フィターゼ（その２の(2)）　（略）
フィターゼ（その２の(3)）　（略）	フィターゼ（その２の(3)）　（略）
フィターゼ（その２の(4)）	（新設）
ア　製造用原体	
㈠　成分規格 酵素力単位　本品は、酵素力試験を行うとき、１ｇ中に5,000フィチン酸分解力単位以上を含む。 物理的・化学的性質 ①　本品は、淡褐色の液体である。 ②　本品の水溶液又は水懸濁液（１→100）のpHは、3.5～6.5である。 ③　本品は、pH3.5～4.5において最大の酵素活性を有する。 純度試験 ①　鉛　本品0.5ｇ（0.45～0.54ｇ）を量り、鉛試験法（原子吸光光度法第１法）により鉛の試験を行うとき、その量は、20μg／ｇ以下でなければならない。 ②　ヒ素　フィターゼ（その１）製造用原体の純度試験②を準用する。 ③　抗菌活性　フィターゼ（その１）製造用原体の純度試験③を準用する。	